

報告事項1：平成30年度事業報告の件

平成30年度事業報告

要 旨

事業年度活動テーマ 『 **Blaze the Trail** 』（ブレイズザトレイル）

～ 自ら道を開こう ～

平成24年4月1日、それまでの50年間の歴史とともに、社団法人、特例民法法人という法人体制を経て「公益社団法人」へと移行した。そして、会員、役員が一丸となり、公益事業に資するように日々精力を傾けていることは言うまでもない。公益社団法人の7年間に積み上げてきたそれぞれの事業年度でのテーマに込めた決意を実行し続け、今年度は『 Blaze the Trail ～自ら道を開こう～ 』とした中で「自分自身がさらに一步成長する年」を目指した。公益社団法人としての組織力を活かしてきたJAIFAの活動は、会員一人ひとりが自身をさらに成長させることで、生命保険の仕事に対する資質が向上し、まさに、『一人ひとりが頑張り、将来への道を切り開き、後に続く者に「道しるべ」を残す』ことが、あらゆる進化と発展に大きく寄与すると確信してのことである。

まもなく元号が変わる。時代の変革とともに、令和の新時代に大きく躍進しようとするJAIFAの姿が見えている。我々会員は生命保険営業職員である。会員一人ひとりの貴重な経験から大切なものは何かを常に踏まえ、生命保険の相互扶助の精神のもとに、私たちの仕事が多くのお客様のためにあり、そして、JAIFAの活動を通じて、広く国民の皆様に公益事業を反映させていくように心がけているところが、少しずつ実を結んできている。

日本は変わらず大規模被災が止まない。東日本大震災、熊本・大分地震、西日本豪雨、北海道胆振地震、そして異常気象による被害など、土地に住む人々に試練を課している。被災者の方々にとって復興・復旧はいまだ大きく変わっていない。

会員は増加している。全国津々浦々に拡大しつつある会員の力、JAIFAの組織力が、公益社団法人としてふさわしい社会貢献活動の強化を図っていくこと、生命保険の大切さを伝えることなどを使命としているうえで、拡大しつつある組織力に活かされている。他団体等に類を見ない活動をこれからも展開していく。

会員一人ひとりの力によって公益事業さらに充実されてきたことは間違いない。不特定多数(一般の方)へ向けた事業を行う事で公益社団法人が認定されていることから、公益事業の実施を順守していくことの誓いとともに、公益事業のあり方や今後についてブロック長及び全国各地で開催されたブロック会議等を通じて周知徹底するとともに、掲げている「3つの施策」を必ず達成することをこれからも確認していく。

1. 公益事業費は、70%以上となるように運営すること(70%ルール)
2. セミナーは、企画段階で決定申請書を提出し、公益事業判定を受けること(企画決定申請ルール)
3. 自己負担費用項目とJAIFA負担費用項目の区分を厳守すること(費用区分ルール)

次年度のみならず、引き続き、公益の原点に立ち返りつつ、事業に臨むことを確認していく方針である。

このように、生命保険の使命と築いてきた伝統のもとに、平成30年度も公益社団法人として下記事業を中心として行ってきたことを報告する。

■「公益社団法人」としての役割と使命（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIFA）は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする。

目的達成のための事業は次の通りとしている。

- (1) 消費者に対する生きがいや生活設計の支援と生命保険に関する教育啓発・情報提供活動
- (2) 地域社会に貢献するためのボランティア活動やエコ活動
- (3) 消費者に対する生命保険知識向上のための調査及び関係機関への提言
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

これを礎に、これまでも増して、生命保険営業職員で構成する唯一の公益団体として、JAIFAの果たす役割と使命を心に刻み、生命保険の健全な発展のために一歩ずつ着実な事業運営を行っていくようにしていくことを誓う。

■一般消費者の参加による年次統一セミナー、講演会・セミナー等の実施（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

消費者個々の利益保護を図り、国民生活を守るため、公益的役割を担う社会保障制度の一部を補完している国民生活に密接な生命保険を、適切に利用していただけるよう、保険の仕組みや新しい保険の正しい知識を一般の消費者の方々に啓発する活動や、消費者のライフサイクル全般にわたって情報提供活動につなげるべく講演会、研修会、セミナーなどを実施し、生命保険が自分や家族の生活を守る大切な役割を担っていることを理解していただくとともに、生命保険商品をはじめとする金融商品の正しい知識や活用を一般社会に普及させるように実施してきた。

一般消費者の参加によるセミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、主に『健康増進や先端医療』『生きがいを考える』『教育・人格形成』『ライフプランの設計支援』『経済や金融などの知識向上』といった5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいた。

年次統一セミナー（通称年次大会）は、年に一度、統一テーマのもとに全国規模のセミナーを開催する目的は、(1)公益法人として不特定多数の利益実現を図るといふ、当協会の使命・役割を改めて新入会員を含め末端まで徹底させると同時に、(2)一般の消費者の方々に広く参加を呼び掛け、国民生活に密接な生命保険の役割を理解していただくことにある。そのための広報活動を積極的に展開している（2018年度開催「函館大会」：全体で3,500名参加）。また、同セミナーでは、加入者の体験談なども交え、来場者に啓発活動を展開している。あわせて、広く実施している「愛のドリーム募金」を代表例として、様々な形での社会貢献活動（リレー・フォー・ライフ、スペシャルオリンピックス日本など）ボランティア活動の意識向上を目的に活動している。

■公益法人団体相互の連携による『民による公益』の増進へ向けて（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

JAIFAは、公益法人団体相互の交流を通じて「民による公益事業」の拡大に応えるための活動にも着眼し実施している。

公益法人制度改革の目的は、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進に寄与するとともに、主務官庁の裁量権に基づく許可の不透明性等の従来の公益法人制度の問題点を解決するこ

と。」とあり『民による公益』の増進を推進している。

J A I F Aは、自協会の活動とともに、他の公益法人組織との交流の中で、互いの組織の事業への理解や連携を通じ、民による公益事業の推進に対して、交流を通じた活動に応えられるよう推進してきた。

①公益法人団体が実施する行事への参加（人的支援）

公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 全国各地の主催行事へ参加
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 全国各地の主催行事へ参加

②J A I F A年次統一セミナーでの公益団体紹介広報ブースの設置（無料出展にて推奨）

NPO法人 おはよう共同作業所（日常生活訓練指導や作業指導）

NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会（闘病中の子どもたちへの支援）

公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン（病気の子どもとその家族の滞在施設支援）

公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン（難病の子どもたちの夢をかなえる活動）

③広報誌「Present」への寄稿

一般社団法人金融財政事情研究会「お金にまつわるエトセトラ（ファイナンシャルプラン）」8年継続

公益財団法人生命保険文化センター「中学生作文コンクール」入賞作品の紹介 17年継続

■突発的大災害への支援（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

平成24年の設立からの5年間は、ハートフルファンデーションがどのように活かされて行くのか、活動の礎にもなるよう「年度ごとの期限を定めた支援」として毎年500万円相当の寄贈も続けてきた。この実績から、平成29年度からは「年度ごとの期限を定めた支援」に代わり「未来ある子どもたち」に焦点をあて、難病と闘う子どもたち及びその家族を継続的に支援することで、子どもたちが安心して治療に専念できるようJ A I F Aらしい支援をしていくことを決定した。よって、平成30年度の支援先についても、継続して下記3団体へ合計500万円の支援をさせていただいた。

平成30年度支援先（平成29年度に継続）

①「NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会」（100万円）

全国の病院を訪問して闘病中の子どもたちを笑顔にする活動をしている団体で、全国に約100名のクラウン(道化師)が活動しており、小児病棟に入院している子どもたちを、毎月約80病院に定期訪問している。病院への定期訪問の他、被災地での活動への支援をさせていただいた。

②「公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」（200万円）

病気と闘う子どもが、家から離れた病院に入院している場合、家族の負担は肉体的にも精神的にも経済的にも大きなものとなる。このような子どもの治療に付き添う家族の滞在施設が全国に12施設あるため、施設運営へ支援させていただいた。

③「公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン」（200万円）

命に関わる難病の子どもの夢をかなえ、生きる力や病気と闘う勇気を与え活動をしている団体である。難病の子どもの夢を1つでも多く叶えることができるよう支援させていただいた。

また、全国各地で突発的に大災害が発生しており、全国の地方協会に1名ずつ登録いただいているハートフル・コーディネーターと地方協会長とが被災状況等を把握し相談のうえ、支援内容について本部ハートフルファンデーション委員会と連携する体制をとっているため、被災地が必要としている物資支援や要望に対して下記の通り支援し役立てていただく事が出来た。

○「平成30年7月豪雨」への支援

昨年7月西日本を中心に台風及び前線の影響から広範囲にわたり豪雨被害が発生し、各地で土砂崩れや河川の氾濫が発生した。ハートフルファンデーション委員会は特別警報発令地域を中心に被災地域である22地方協会のハートフル・コーディネーターと地方協会と連携をとり、災害直後から被災状況を確認しつつ、市役所等と連携して、被災地で緊急に必要なとされている飲料水、菓子パン、日用品、熱中症対策グッズ、高圧洗浄機等を購入し支援した。また、ボランティアスタッフへの支援と飲料水、マスク、軍手等を支援した。さらに、人的支援として各地にて被災者家屋の片付けや土砂・瓦礫の片付けのボランティアなどにも参加させていただいた。

○「北海道胆振東部地震」への支援

昨年9月に発生した北海道で震度6強を観測する地震があり、震源に近い厚真町で大規模な土砂崩れが発生した。災害直後に苫小牧協会を通じて「むかわ役場」と連携をとり、電池、洗剤、ポリ袋等を購入し支援させていただき、追加支援として「安平役場」からの要望により避難所に8台の空気清浄機を支援させていただいた。

突発的災害は発生してほしくはないが公的機関の支援とは異なる視点で、被災地が必要とされている物資支援や要望に対して、スピーディに対応させていただいた。

このような万一の大災害時に、「JAIF Aらしい支援」が会員の総力をもって起動できる体制は、会費に会員一人500円の基金が加えられたことで年間約1,900万円規模の原資が積み立てられ、会員全員の総力をもって起動できる体制が整えられたことに間違いがない。改めて感謝申し上げるとともに、引き続き公益法人としての社会貢献活動として負託に伝えていく。

最後に、年次大会にて恒例となっている「LEDバッジを活用した支援」は、函館大会開催地域支援として函館地区の「未来ある子どもたち」の福祉事業へ約153万円を寄贈することが出来た。

ハートフルファンデーション 募金経過報告書

平成31年3月31日

収入		支出	
①前年度末繰越金	45,267,731	①突発的災害支援	1,193,512
②年会費からの収入	19,469,500	平成30年7月豪雨への支援	867,261
平成30年度会費38,876名[@500]	19,438,000	北海道胆振東部地震への支援	326,251
地方協会預り会費7名[@500]	3,500	②函館市(児童福祉への支援)	1,534,760
平成29年度以前の会費56名[@500]	28,000	③未来ある子どもたちへの継続支援	5,000,000
③寄付金等	1,708,154	NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会	1,000,000
一般社団法人生命保険協会[H30年度]	1,500,000	公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス	2,000,000
一般 8件	208,154	公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	2,000,000
④バッジ販売	100,000	④バッジ制作費(函館年次統一セミナー募金用LEDバッジ)	699,840
ファンデーションバッジ[@10,000]		⑤振込手数料・残高証明書発行代	2,333
⑤函館年次統一セミナー募金 (一口1,000円以上募金LEDバッジ)	2,234,600		
合計	23,512,254	合計	8,430,445
		年度末残高	60,349,540

■社会貢献活動の充実（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

社会奉仕活動事業は、JAIFFAの公益事業の重要な位置づけにあり、従来から実施している様々な社会貢献活動の充実拡大をはかり展開している。また、JAIFFA地方協会の特色を活かした独自の活動を拡大させている。

当協会の社会貢献活動の原点は、平成7年から開始した「愛のドリーム募金」活動である。「一日10円」の精神で募ったこれまでの募金総額は、23年間で5億2,587万1,336円、福祉巡回車愛のドリーム号は442台、その他に、車椅子や家電製品、さらには児童支援にかかる文房具などの購入とともに全国各地へ寄贈してきた。

このように、愛のドリーム募金は、「愛のドリーム号」の贈呈に加え、未来ある子供たちのために地域での要望や実情などを受けて、同募金の贈呈対象を、将来を担う子供たちへの支援にも活動の輪を拡大して身近な生活に役立ち、子供たちが大きく育ってほしいと願っている。

これからも、地域に根差した活動として地方協会毎に現地の事情に合わせた贈呈を推進していく。

「かけがえない命とその命を育てている地球環境の保護」を「タッチ エコ！」のスローガンのもと、エコの視点を持った新たな取り組みとして、次の3点について継続的に実施しており、令和元年度へ継続している。

①未使用のプリペイドカード（テレフォンカード等）の収集

携帯電話の普及と共に未使用のテレフォンカードを手元に保管している人は少なくない。これを収集しボランティア支援に活かしている。このほか切手・はがき等の支援も増えてきた。

②メガネの回収

メガネ使用者やコンタクトレンズに変えられた方などから、使用しなくなった「メガネ」を回収している。これは、目が悪くてもメガネを買うことのできない途上国を支援するボランティア団体に送り役立てて頂いている。

③タオルの回収

自宅や会社にある未使用のタオルを回収し、特別養護老人ホームなどの施設に寄贈して最後は雑巾に至るまで有効活用して頂き喜ばれている活動である。一般企業から協力も頂いている。

上記は、共に組織力を活かして成果を上げられるように、来る2019年5月31日の長野年次統一セミナー会場への持参受付分まで活動していく。会員のみならず広く支援を呼び掛けている。

このほか、ペットボトルキャップ、書籍等の回収を行い、地球環境の保護にも配慮した事業も今後さらに拡大させる予定である。

■公益事業としての国際協力の推進（管理部門）

JAIFFAが連携する海外協会であるNAIFA（全米生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会）との交流をはかり、生命保険に関係する研究を重ねると共に、やがて、JAIFFAが諸外国をリードし『国際的な民による公益の増進』を果たすことができる公益組織の見本となるようこれからも展開していく。

●2018年度の国際会議等の参加

9月 NAIFA年次大会 [Performance + Purpose 2018] サンアントニオ

●今後の国際会議等の予定

2019年 9月 NAIFA年次大会 [Performance + Purpose 2019] オーランド

2020年10月 NAIFA年次大会 [Performance + Purpose 2020] ボストン

■会員増強と組織の強化（管理部門）

組織強化の施策として会員間の情報交換の仕組みを強化することや、本部と会社代表とのコミュニケーションを密にしながら、会社ごとの現状を判断し、会員増加への対応を相互連携することは、J A I F Aの公益事業を津々浦々へ伝達するためには不可欠な取り組みである。

正会員の募集は、会費徴収のシステム化、口座振替による会費納入化など会員の利便化を図る目的で推進している。

日本経済や生命保険業界の環境が厳しい中で、平成30年度をもって14年連続で会員増強を実現していることは、J A I F Aの公益活動普及への成果といえる。

事業年度	会員数	増加数	増加率
平成16年	27,998名		
17年	29,019名	1,021名	3.6%
18年	29,248名	229名	0.8%
19年	30,538名	1,290名	4.2%
20年	30,576名	38名	0.1%
21年	31,598名	1,022名	3.3%
22年	31,770名	172名	0.5%
23年	31,812名	42名	0.1%
24年	32,412名	600名	1.9%
25年	33,775名	1,363名	4.2%
26年	34,044名	269名	0.8%
27年	34,890名	846名	2.4%
28年	36,449名	1,559名	4.3%
29年	38,476名	2,027名	5.3%
30年	38,876名	400名	1.0%

14年連続増加(10,878名増)

J A I F Aは、生命保険営業職員を正会員としている。生保業界の環境変化の中、代理店に所属する営業職員に対してもJ A I F Aの事業活動を広報しつつ入会促進している。生命保険会社に所属する会社に比して代理店は来店窓口型も多く、一般消費者と接する機会には、J A I F A会員であることの誇りと、公益社団法人として活動していることの使命を伝えて頂くことで、消費者の方々が安心して生命保険への理解を深めいただけるように取り組む。

■広報誌「Present（プレゼント）」の充実と広報活動の拡大（管理部門）

広報誌「プレゼント」の内容を一般の消費者向けの記事を多く掲載するなどの刷新を行ってきた。今後も更に健康情報や生活に役立つ知恵などの記事を掲載していく。また、一般の方に目にさせていただくよう公共機関などへの配布も推進する。

広報活動については、J A I F Aの公益活動を内外にPRするため「ホームページ」や「Facebook」「QRコード」などを活用し、このほかDVDやパンフレットなどのツールを活用していく。

●2018年4月号

- ・特集 仕事もプライベートも充実 実践!時間管理術
- ・【新連載】暮らしの知識 ようこそ、J A I F Aのホームページへ

- ・第36回 ゼロから学ぶ税金講座 規制された「小規模宅地等の評価減」
- ・第184回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「生と死に直面して」
- ・第13回 社会保険Q&A 物価にスライドしない年金額
- ・第73回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分のことが好きですか?】 簡単トレーニングが大切です
- ・第173回 お客様からの感謝の声 生命保険を見直した半年後に大腸がん発症。家族やまわりの人たちのおかげで完治しました
- ・第85回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 今さら聞けない!「仮想通貨」ってどんなの?
- ・第10回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017 甲府」に参加しました!
- ・第91回 心のかげはし 育成をするうえで大切なことは、“寄り添うこと”と“見守ること”。信頼関係を築くための手間は惜しまないよう心掛けています
- ・2018JAIFA 年次大会 in 函館 参加者募集中

●2018年5月号

- ・特集 民法改正で、契約のルールが大きく変わるの?
- ・【新連載】アクチュアリー (保険数理の専門家) がやさしく教える生命保険 標準生命表の改定について
- ・第37回 ゼロから学ぶ税金講座 入社2年目からの住民税の払い方
- ・第185回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「父の残してくれたもの」
- ・第14回 社会保険Q&A 昇給による社会保険料の変更
- ・第74回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【質の高さの大切さ】 余裕が余韻に変わります
- ・第174回 お客様からの感謝の声 自由診療も保障される生命保険のおかげで私に最適な薬が見つかり、がん治療をしながら働いています
- ・第86回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 初心者におススメ!「つみたてNISA」4つの魅力
- ・第11回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～JAIFA 埼玉県協会は創立40周年を迎えました!
- ・第92回 心のかげはし 成功例も失敗例も、それを活かしてお客様に役立てていただきたい。厳しいことを言われても、くじけず、ついて来られるような人は着実に伸展します
- ・第10回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～2020年の年次大会が静岡で開催決定!

●2018年6月号

- ・特集 ココロもカラダもリフレッシュ 癒しのアロマ
- ・第2回 暮らしの知識 効率的な情報収集はキュレーションメディアで
- ・第38回 ゼロから学ぶ税金講座 退職後に納める住民税
- ・第186回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「大きな一歩の原動力」
- ・第15回 社会保険Q&A 人生100年時代の年金受給
- ・第75回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【「自分の苦手」を知ること】 自分の中の自動反応
- ・第175回 お客様からの感謝の声 闘病しながら調理師の仕事が続けた父。最期の日々は友人のように仲よく過ごしました
- ・第87回 思わず伝えたくなる!お金にまつわるエトセトラ 「リバースモーゲージ」「リースバック」どう違う?
- ・第12回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～毎年、児童養護施設の園児たちとお花の寄せ植えの活動をしています!
- ・第93回 心のかげはし 飛び込みを10年間毎日やり続け、現在のお客様は飛び込みで出会ったお客様と、そのお客様のご紹介によるものです

- ・第11回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～「愛がある 仲間がいる JAIFA」をテーマに！

●2018年7月号

- ・レポート 小倉智昭氏「意志あるところに道は開ける」をテーマに講演
- ・2018JAIFA 年次大会 in 函館 Pay it Forward～ありがとうの気持ちを伝えていこう～心は伝わりましたか？
- ・JAIFA 第48回 定時総会報告 会員学習プログラムをスタートさせます。
- ・NAIFA 次期会長挨拶
2018NAIFA 年次大会 in サンアントニオ参加申込受付中！！
- ・第12回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～地域の高校で「出前授業」を開催！
- ・第187回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「両親からの最高のプレゼント」
- ・第16回 社会保険Q&A 70歳以上の高額療養費の限度額再引上げ
- ・第76回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【学ぶことは楽しむこと】大切な3つのポイント
- ・第176回 お客様からの感謝の声 わが家の太陽だった母。弟の結婚式を見届けて55歳の若さで天国に旅立ちました
- ・第88回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ キャッシュレスが進む？手軽な個人間送金サービス
- ・第13回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～老人ホーム施設の清掃ボランティア活動をしています！
- ・第94回 心のかげはし がん保険の提案をすることは、お客様の治療の選択肢も広げるということ。私自身もがんの手術を受けましたが、がん保険に加入していたため、治療の選択肢が広がりました
- ・第39回 ゼロから学ぶ税金講座 土地の値段のからくり (1)

●2018年8月号

- ・特集 快眠のための寝具選び
- ・第2回 アクチュアリー（保険数理の専門家）がやさしく教える生命保険 トンチン年金とは
- ・第40回 ゼロから学ぶ税金講座 土地の値段のからくり (2)
- ・第188回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「安心と幸せな暮らしのために」
- ・第17回 社会保険Q&A 介護保険自己負担、一部高所得者3割に
- ・第77回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【「心の疲れ」をためこまない】心の声に耳を傾けましょう
- ・第177回 お客様からの感謝の声 次男が1歳のときにがん保険に加入。胃がんが完治した今、安心した生活を送っています
- ・第89回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 従業員持株制度のメリットとデメリット
- ・第14回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～障害者支援施設等へ歌手同行で慰問活動をしています！
- ・第95回 心のかげはし すべての方がお客様という気持ちで、情報を平等に提供することを心掛けています
- ・第13回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～桂浜でウミガメの保護活動をしています！
- ・JAIFA 社会奉仕活動報告

●2018年9月号

- ・特集 備えあれば患いなし 防災「備え」マニュアル
- ・第3回 暮らしの知識 そのクリック、安全ですか？

- ・第41回 ゼロから学ぶ税金講座 年金か一時金か？
- ・第189回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「本当の愛」
- ・第18回 社会保険Q&A 年金の繰下げ受給の注意点
- ・第78回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【相手の本心に近づける】非言語コミュニケーションの大切さ
- ・第178回 お客様からの感謝の声 2年続けて夫が手術入院。生命保険のおかげで安心して治療と療養に専念できました
- ・第90回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ「金投資」ってどんなもの？
- ・第15回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～全国一大きな「想い」をつなげるよう活動しています！
- ・第96回 心のかげはし お客様に万一のことがあった場合に、受取人の方へ迅速に保険金をお届けし、安心された表情を見届けたい
- ・第14回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～復興イベント“元気大分”プロジェクトを開催！

●2018年10月号

- ・第72回「生命保険の月」に寄せて
- ・特集 がんへのアプローチ
- ・第42回 ゼロから学ぶ税金講座 たばこ税のトリビア
- ・第190回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「未来を守る生命保険」
- ・第19回 社会保険Q&A 病気やケガで長期間欠勤したら……
- ・第79回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【豊かさの種まき】フォーカスを変える
- ・第179回 お客様からの感謝の声 54歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された夫。「明るい介護」でサポートしています
- ・第91回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ「円高」と「円安」を見きわめる基準とは
- ・第16回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～「タオル1万本運動」で想いをつなげる
- ・第97回 心のかげはし 入社以来、私が一番大切にしている「保全」。西日本豪雨災害で被災し、改めてその大切さを実感しました
- ・第15回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～JAIFAの活動を通じて、交流を深め地域に貢献を

●2018年11月号

- ・連載 健康診断の結果と生活習慣病
- ・第3回 アクチュアリー(保険数理の専門家)がやさしく教える生命保険 民事法定利率について
- ・第43回 ゼロから学ぶ税金講座 災害にあったとき税金は……
- ・第191回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「生命保険の大切さ」
- ・第20回 社会保険Q&A 定年後再雇用で給与が下がっても……
- ・第80回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【書くことで見えること】自分の内側を整理する習慣
- ・第180回 お客様からの感謝の声 2度目の急性心筋梗塞で亡くなった兄。生命保険で家族への温かい気持ちの伝わりました
- ・第92回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ ソーシャルレンディングの仕組みと魅力
- ・第17回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～ヘアドネーション(髪の毛の寄付)を行いました

- ・第98回 心のかげはし 大病を患い実感したこと、長く仕事を続ける上でのお客様とのかかわり方を大切にしています
- ・第16回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～雨にも負けず！リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018 青森に参加

●2018年12月号

- ・特集 手帳を上手に選ぼう
- ・第4回 暮らしの知識 フリマアプリとネットオークションの概要
- ・第44回 ゼロから学ぶ税金講座 消費税増税と住宅購入
- ・第192回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「未来へつなぐバトン」
- ・第21回 社会保険Q&A 年金受給開始後に支払った保険料は……
- ・第81回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【あなたにとって苦手な人とはどんな人ですか？】自分の受け取り方
- ・第181回 お客様からの感謝の声 37歳で幼い子どもたちと無念の別れをした妻。母親の分まで子育てしていきます
- ・第93回 思わず伝えたい！お金にまつわるエトセトラ 災害時に役立つお金の知識
- ・第17回 JAIFA VOICE～JAIFA 地方協会活動レポート～2019年の年次大会開催地に決定！～「さあ！すぐ出して」動員数過去最大の6,000名を目標に～
- ・お客様のためにあるべき姿を追求して 米国生命保険制度研修に参加して—この経験をお客様のために活かす
- ・愛のドリーム募金の輪を広げよう！福山市の社会福祉法人に車椅子を寄贈しました！

●2019年1月号

- ・新春対談 Blaze the Trail～自ら道を開こう～仁科 亜季子さん（女優）石井 清司（JAIFA 第12代理事長）
- ・第4回 アクチュアリー（保険数理の専門家）がやさしく教える生命保険 低金利と生命保険会社
- ・第193回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「持病と生命保険」
- ・第56回 中学生作文コンクール 入賞者表彰式
- ・生命保険各社社長より 新年のご挨拶
- ・第45回 ゼロから学ぶ税金講座 イデコと個人年金保険の違い
- ・第22回 社会保険Q&A 労災に認定されると……
- ・第82回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【心のこもったマナーを意識！】ビジネスマナーの必要性
- ・第182回 お客様からの感謝の声 胃がんを早期発見、早期治療できた夫。3年後の今、バリバリ働き多忙を極めています
- ・第99回 心のかげはし “FOR YOU” の精神を忘れずに！活動量を可視化して、自身の行動力をコントロールしています
- ・第94回 思わず伝えたい！お金にまつわるエトセトラ 海外旅行で得られるマネースキル
- ・第11回 全国会長会議が開催されました
- ・第18回 想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～クリスマスチャリティーパーティと講演会を行いました

●2019年2月号

- ・特集「先進医療」で知っておきたいこと

- ・第5回 暮らしの知識 IoT で暮らしが変わる!?
- ・第46回 ゼロから学ぶ税金講座住宅ローン控除、拡充へ
- ・第194回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「贈られた未来」
- ・第23回 社会保険Q&A 退職後の公的医療保険の選択
- ・第83回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【電話は『あなたそのもの』が伝わります】電話応対で印象アップを!
- ・第183回 お客様からの感謝の声 長く過酷な闘病が続いた夫。天国に旅立ちましたが、2人の思い出をたくさん作りました
- ・第95回 思わず伝えたくなる! お金にまつわるエトセトラ 休眠預金になると何が起こる?
- ・社会奉仕委員会からのお願い ①社会貢献顕彰推薦のお願い ②カード類、メガネ、タオル収集へご協力をお願い
- ・第100回 心のかげはし スランプに陥って考えたこと。それは「他の誰にもできない、ベストワンの仕事をしていこう」でした
- ・2019年 JAIFA 年次大会 in 長野 参加者募集開始のご案内

● 2019年3月号

- ・特集 自分のスキルを活かす新ボランティア プロボノ
- ・第5回 アクチュアリー(保険数理の専門家)がやさしく教える生命保険 生命保険の新商品開発について
- ・第47回 ゼロから学ぶ税金講座 子、孫への一括贈与特例、条件付きで延長
- ・第195回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「かけがえのない家族」
- ・第24回 社会保険Q&A 産前産後期間の国民年金保険料の免除
- ・第84回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【笑顔の発信者になりましょう】簡単エクササイズ
- ・第184回 お客様からの感謝の声 37歳の若さで天国に旅立った最愛の夫。娘たちの成長を見守っていてください
- ・第101回 心のかげはし お客様の経済的な面での不安を生命保険で解消できるよう、お役に立ちたい
- ・第96回 思わず伝えたくなる! お金にまつわるエトセトラ 「信用格付」とは何か?
- ・JAIFA 学習帖を活用していますか?
- ・2019年 JAIFA 年次大会 in 長野 参加者募集開始のご案内

1. 教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1）

セミナー開催事業

セミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、下記の5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいている。

全国9ブロック54協会が、さまざまな分野から講師をお招きして146回のセミナーを開催した。セミナーの殆どをオープンセミナーとして、会員はもちろん会員以外の主婦や学生など一般の方々にも多数ご参加いただいた。開催したセミナーの一部を下記に記載する。

1. 健康増進や先端医療のテーマ

◆開催事例

- ①小久保 晴代（フリーアナウンサー）
『働き盛りの健康管理～生活習慣病対策』
- ②小西 博之（タレント）
『夢は叶う』
- ③大川 伸一（神奈川県立がんセンター 病院長）
『がん治療の最前線～がん診療の奥の奥～』
- ④新垣 加奈（えんどう桔梗マタニティクリニック）
『女性ホルモンに関係した疾患について』
- ⑤伊藤 裕美（ヒロ・クロンドールバレエ 代表）
『バレティストレスン 健康は姿勢から』

2. 生きがいを考えるテーマ

◆開催事例

- ①山田 邦子（タレント）
『大丈夫だよ、がんばろう！』
- ②大川 順一郎（鳥取市立中ノ郷小学校 教諭）
『ピンチをチャンスへ、運命を乗り越えて歩む人生』
- ③原 千晶（タレント）
『大切にしたい自分の体～2度の子宮がんを経験して～』
- ④白石 康次郎（海洋冒険家）
『夢、挑戦、そして人とのつながり』
- ⑤久瑠 あさ美（メンタルトレーナー・作家）
『人生が劇的に変わるマインドの法則
～潜在能力を武器にできれば人生はとんでもなく凄いことになる～』

3. 教育・人格形成テーマ

◆開催事例

- ①橋下 徹（元大阪府知事・前大阪市長）
『次世代のために、今できること』

- ②近田 直人 (こんだ直人教育研究所)
『「叱り上手は誉め上手」～安心安全な子育てと人材育成～』
- ③中村 文昭 (有限会社クロフネカンパニー 代表取締役社長)
『「こ」育て』
- ④倉島 麻帆 (株式会社スマイルボイス 代表取締役)
『心を動かすプレゼンテーション～影響力を与える声・話し方・立ち居振る舞い』
- ⑤成井 富左子 (フリーアナウンサー)
『空間整理で運気を上げる！人生を変える！～住まいと心のデトックス～』

4. ライフプランの設計支援テーマ

◆開催事例

- ①芝 知美 (司法書士・民事信託士)
『家族信託を学ぼう！』
- ②江幡 吉昭 (一般社団法人相続終活専門士協会 代表理事)
『その相続税払いすぎていませんか？！知らなきゃ損する相続の話』
- ③こころ亭 久茶 (行政書士きざき法務オフィス代表)
『落語で学ぶ相続・遺言・後見』
- ④杉村 太蔵 (政治評論家・タレント)
『一緒に考えよう、私たちの将来』
- ⑤パッケンマッケン (お笑いコンビ)
『笑って向上！コミュニケーション&モチベーション』

5. 経済や金融などの知識向上テーマ

◆開催事例

- ①市川 量一 (元第一生命教育部 講師)
『日本経済と社会保障 (年金・医療・介護) の現状と将来』
- ②本田 健 (セミナー講師)
『幸せな経済自由人から学ぶ上手にお金とつきあう5つの秘訣』
- ③永瀬 慎太郎 (相続・終活コンサルタント)
『「仕事で使える税金の知識」～個人にまつわる押さえておきたい仕組みと穴～』
- ④天達 武史 (気象予報士)
『天気の人々がみた異常気象と気象災害への備え』
- ⑤辛坊 治郎 (キャスター、株式会社大阪総合研修所 代表)
『どうなる日本！？～政治経済の明日を読み解く～』

ブロックセミナー

<北海道ブロック>

平成30年10月 5日 (金) 「ホテル日航ノースランド帯広」
崎原 真弓 『琉球の先人たちから学ぶ肝心 (ちむぐくる) 』

<関東甲信越ブロック>

平成30年10月 2日 (火) 「ホテル国際21」

北村 晴男 『時事問題とリーガルマインド』
上村 愛子 『「挑戦こそが人生を輝かせる」～やさしく、強く、
そして正直に～』

<首都圏ブロック>

平成31年 1月11日(金) 「よみうりホール」
竹中 功 『心のキャッチボール グッドコミュニケーションのススメ』
草野 仁 『いつもチャレンジ精神で』

<東海北陸ブロック>

平成30年10月12日(金) 「じゅうろくプラザ」
原 晋 『魔法をかける箱根駅伝制覇までの4000日間』

<近畿ブロック>

平成30年10月15日(月) 「ヒルトン大阪」
西野 朗 『たった2ヶ月でチームを作り込んだ。その時の思いと行動』
山野 孝義
井村 雅代 『心の才能～夢への挑戦～』

<中国ブロック>

平成30年10月19日(金) 「広島国際会議場 フェニックスホール」
柴田 和子 『正々堂々のセールス』
井村 雅代 『心の才能～夢への挑戦～』

<四国ブロック>

平成30年10月13日(土) 「ひめぎんホール サブホール」
永江 孝子 『あなたを輝かせる話し方～いい人間関係が作れます～』
山田 徹 『いかに生きるか』
荒井 仁美 『7つのチャクラを整える音の処方箋 ピアノ演奏』

2. ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2）

社会貢献事業

■愛のドリーム募金■

各地方協会とも贈呈計画への取組みが行われ、高齢者を対象とした福祉巡回車「愛のドリーム号」の贈呈に加えて、地方協会の規模や贈呈先の要望により贈呈対象を児童養護施設等への慰問や支援にも広げ、地域性や計画性を考慮した活動を展開している。

また、広報誌「プレゼント」では、裏表紙に愛のドリーム号贈呈先および児童福祉施設からの感謝の声を掲載し活動報告を続けている。

平成31年3月31日現在までの総累計金額は、5億2,587万1,336円である。

■ボランティア団体主催の諸行事に参加

下記団体が取り組む諸行事活動に、お手伝いをさせていただいている気持ちをもって、人的支援として会員が積極的に参加するように取り組んでいる。

☆ガンに立ち向かう人々のために（公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ）

命のリレー・ウォークでは、がんに向かい向かう日々の思いや体験を語り合い、24時間歩きながら寄付を募るイベントです。患者さん（サバイバー）たちと共に歩くことで、がんに向かう勇気や生きる感動を共有します。

☆知的発達障害のある人々のために（公益社団法人スペシャルオリンピックス日本）

知的障害のある人たちに年間を通じて、さまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供している。スポーツを通じ社会参加を応援するために全国各地で開催される競技会等での支援をしています。

■大災害に対する緊急支援体制■

これまで、国内外の各地で発生した津波や大地震などの突発的自然災害により被害を受けられた方々に対して、援助を必要とする事態が発生した場合には今後も迅速な支援を行えるよう、ハートフルファンデーションの運営体制をもって対応していく。

3. 調査・提言事業（その他の事業）

諸団体との連携・交流等事業

- ・平成30年 4月19日(木)、20日(金) 第48回MDRT日本会大会に石井理事長と本部事務局が出席した。
- ・平成30年 6月 8日(金) 第47回TLC(生保協会認定FP)会総会に小島理事が出席した。
- ・平成30年 7月19日(木) アンダーライティング学院運営委員会に田久保理事が出席した。
- ・平成30年 8月 2日(木) アンダーライティング学院第44期生卒業式典に山本理事が出席した。
- ・平成30年 9月 4日(火) アンダーライティング学院第45期生入学式典に池本理事が出席した。
- ・平成30年10月11日(木) 生命保険修士会第44回定時総会に石井理事長が出席した。
- ・平成30年10月17日(水) アンダーライティング学院会計監査に田久保理事が出席した。
- ・平成30年11月30日(金) 第8回日本損害保険代理業協会コンベンションに山本理事が出席した。
- ・平成30年12月20日(木) アンダーライティング学院運営委員会に田久保理事が出席した。
- ・平成31年 1月 4日(金) 一般社団法人生命保険協会新年賀詞交歓会に田久保理事が出席した。
- ・平成31年 2月25日(月) 生命保険協会創立110周年記念式典に並木専務理事と本部事務局が出席した。

国際連携事業

■NAIFA年次大会

米国NAIFA年次大会が、2018年9月13日(木)～16日(日)にサンアントニオ「ヘンリー・B・ゴンザレス・コンベンションセンター」を会場にして開催された。

4日間にわたるプログラムは、講演、分科会、ロビー活動の報告、役員選挙などが大会期間中に行なわれた。これまで、NAIFAとJAIFAは、互いに抱えるさまざまな問題や課題に対し真摯に向かい合い、お客さまや一般市民に不利益な政策や法案に強く意見を述べる活動を続けている。昨年は、ハリケーンの影響によりオランダ大会が急遽中止となったこともあり、2年ぶりの大会は様々な話題が交差した。中でも、この3年間でもっとも大きな話題になっていたのが、DOL（Department of Labor／日本だと厚生労働省にあたる）問題で、法律により、自社の商品（定年退職年金商品のこと）だけを販売してはいけない。もしそのような販売をすると訴訟になりそれを恐れた。お客様に対しては、なぜこの商品を進めるのか？コンプライアンスが求められ、DOLの主張によれば、業界アドバイザー（我々の立場のこと）は、客観的に判断し、顧客に一番適した安価の定年退職年金商品を薦めず、コミッション報酬の高いものに走り、更に、保険金融会社がその時推しているものを優先して薦めているものだと言うことであった。しかし、2017年1月、米国大統領選により民主党から共和党政権へ変わったことで、この規制法案が導入されないことになった、すなわちNAIFAが勝利したとの報告があり会場を沸かせた。

このように、米国でも様々な問題点があるが、日米共に共通しているのは、営業職員がJAIFAやNAIFAといった組織に所属し、常にお客様のために学び、そして我々がお客様に長きにわたり接し続けることが大切な事には国境はありません。米国から学ぶことの価値は高く、公益法人としての役割を再認識しつつこれからも密接な連携を保っていける関係であることは意義深く、私達が、米国の生命保険制度を学ぶ意味を活かしていくことが重要なのである。

政策・調査研究活動等事業

政党、関係団体との各種会合に出席し意見の開陳を行い、消費者が不当に不利益を被ることのないようその動向を明示し、消費者の利益を守るなど公益活動に資するよう引続き努力を続けてきた。今後も生命保険料控除などの税制改正や銀行窓販等に対して問題意識を持ちつつ活動を推進していく。

平成31年度税制改正に関する要望項目について

平成30年7月に要望書を作成。自由民主党組織運動本部団体総局財政・金融・証券関係団体委員会へ要望書を提出したほか、11月8日に開催された同会「予算・税制等に関する政策懇談会」にて一般政策の要望を行った。今般の要望事項は下記の通り（抜粋）

《重点要望項目》

◎少子高齢化の急速な進展やライフスタイルの多様化など社会環境が変化する中、持続可能な社会保障制度の確立と国民生活の安定に資するために、国民の自助・自立のための環境を整備する観点から、生命保険料控除制度については、社会保障制度の見直しに応じて、現行制度を拡充すること―所得税法上および地方税法上の生命・介護医療・個人年金の各保険料控除の最高限度額を少なくとも5万円および3.5万円とすること、また、所得税法上の保険料控除の合計適用限度額を少なくとも15万円とすること（所得税法第76条、地方税法第34条・同法第314条の2）

《その他の要望項目》

I. 企業年金保険関係

- 公的年金制度を補完する企業年金制度（確定給付企業年金制度、厚生年金基金制度）および確定拠出年金制度等の積立金に係る特別法人税を撤廃すること
- 確定給付企業年金、厚生年金基金における過去勤務債務等に対する事業主掛金等について、早期の年

金財政の健全化に資する柔軟な取扱いを可能とすること

○企業型確定拠出年金制度における退職時の脱退一時金について支給要件を緩和すること

II. 生命保険契約関係

○遺族の生活資金確保のため、相互扶助の原理に基づいて支払われる死亡保険金の相続税非課税限度額について、現行限度額（「法定相続人数×500万円」）に「配偶者分500万円＋未成年の被扶養法定相続人数×500万円」を加算すること

また、各政策の状況・情報取得のため諸会議等にも参加した。

- ・平成30年 4月12日（木）衆議院議員高村正大と志公会と語る夕べに山本理事が出席した。
- ・平成30年 4月18日（水）「宏池会と語る会」に事務局が出席した。
- ・平成30年 4月25日（水）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に田久保理事が出席した。
- ・平成30年 8月28日（火）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に田久保理事が出席した。
- ・平成30年10月 9日（火）衆議院議員長尾たかし君と日本の未来を創る会に事務局が出席した。
- ・平成30年10月10日（水）衆議院議員高村正彦朝食勉強会に事務局が出席した。
- ・平成30年12月11日（火）衆議院議員高村正大君を囲む会に事務局が出席した。
- ・平成30年12月13日（木）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に田久保理事と事務局が出席した。
- ・平成31年 2月10日（日）自由民主党第86回定期党大会に事務局が出席した。
- ・平成31年 2月20日（水）自由民主党各種団体協議会懇談会に木原相談役が出席した。

○一般社団法人生命保険協会・公益財団法人生命保険文化センター等との懇談会

平成31年1月28日（月）如水会館において、JAIFA主催による生命保険協会、生命保険文化センター、全国生命保険労働組合連合会、生命保険協会長担当4社の調査部・教育部と各種諸問題を話題としての懇談会が開催された。

4. 管理部門

組織の現状

平成30年度末の会員数は38,876名となった。前年平成29年度末会員数38,476名と比較すると400名の増加となった。また、54地方協会のうち増加地方協会は32協会であった。

地方協会別会員数は、別表（56～57ページ添付）資料の通りである。

会員増加32協会

苫小牧・旭川・釧路・帯広・岩手県・宮城県・秋田県・茨城県・群馬県・長野県・千葉県・神奈川県・岐阜県・静岡県・愛知県・滋賀県・京都府・大阪・兵庫県・和歌山県・鳥取県・島根県・福山・徳島県・香川県・高知県・福岡・長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

諸会議の開催

① 理事会

第1回 平成30年4月17日(火) 午後1時～午後3時 メットライフ生命6F中会議室

議 題Ⅰ. 決議事項 第1号議案 平成29年度事業報告承認の件 第2号議案 平成29年度決算承認の件 監査報告含 第3号議案 定時総会の開催承認の件 1. 開催日時について 2. 開催場所について 3. 委任状について 4. 議事録署名人について 5. 議事 決議事項: 第1号議案 平成29年度決算承認の件 報告事項: 1. 平成29年度事業報告の件 2. 平成30年度事業計画報告の件 3. 平成30年度予算報告の件 Ⅱ. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・専務理事 2. 内部監査報告について 3. 組織の現況について 会費入金状況、行事開催報告、愛のドリーム募金 4. 年次統一セミナーの開催について 5. その他

第2回 平成30年9月7日(金) 午後1時45分～午後3時45分 メットライフ生命7F中会議室

議 題Ⅰ. 決議事項 1. 平成30年度事業推進について 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデーション委員会 2. 地方協会長承認の件 3. JAIFAの今後の運営体制の件 4. その他 Ⅱ. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. 年次統一セミナー報告について 4. その他

第3回 平成30年10月26日(金) 午後1時～午後3時 メットライフ生命6F中会議室

議 題Ⅰ. 決議事項 1. 平成30年度事業推進について 2. 平成31年度事業計画骨子について 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデーション委員会 2. 地方協会長承認の件 Ⅱ. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 2. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 3. 内部監査について 4. その他

第4回 平成31年 1月28日(月) 午後1時～午後3時30分 如水会館3F松風の間

議 題Ⅰ. 決議事項 1. 平成30年度事業推進について 2. 平成31年度事業計画案について 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデーション委員会 2. 地方協会長承認の件 3. 平成31年度予算原案について 4. 役員選出について 5. 地方協会長の承認について 6. 支部(地方協会)運営規程細則改定の件 7. 2022JAIFA年次統一セミナー(60周年記念大会)について 8. その他 Ⅱ. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内閣府立入検査について 3. 内部監査について 4. その他

第5回 平成31年 3月 1日(金) 午後1時～午後3時 メットライフ生命7F中会議室

議 題Ⅰ. 決議事項 1. 平成30年度事業推進について 2. 平成31年度事業計画案について 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデーション委員会 3. 指名理事選出の件 4. 定款改正の件 5. 役員選出について 6. 地方協会長承認の件 7. その他 Ⅱ. 報告事項 1. 組織の

現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. 年次統一セミナーについて 4. その他

②委員会

教育委員会

第1回【教育委員会・編集会議】平成30年 8月27日(月)午後1時30分～午後3時30分
JAIFA本部会議室

議 事 1. 平成30年度事業進捗について 2. 平成31年度事業計画案(骨子)について
3. 平成30年度広報誌「Present」の制作について 4. その他
1. 教育事業プロジェクト 2. その他

編集会議 午後3時30分～午後5時30分

議 事 1. 平成30年度『Present』の誌面内容について 2. 平成31年度広報誌
『Present』の編集方針について 3. その他

第2回【教育委員会・教育事業プロジェクト・編集会議】平成30年11月16日(金)午後1時～
午後2時 JAIFA本部会議室

議 事 1. 平成30年度事業進捗について 2. 平成31年度事業計画(案)について
3. 平成31年度広報誌『Present』制作について 4. その他
1. 教育事業プロジェクト 2. その他

編集会議 午後2時～午後3時

議 題 平成30年度事業進捗について 2. 平成31年度事業計画(案)について 3.
平成31年度広報誌『Present』制作について 4. その他

企画広報委員会 企画部会

第1回 平成30年12月18日(火)午後1時～午後6時 JAIFA本部会議室

議 事 1. 2019JAIFA年次大会について 2. その他

第2回 平成31年 2月 1日(金)午前10時～午後1時 明治安田生命長野支社会議室

議 事 1. 2019JAIFA年次大会実行委員会及び決起大会について 2. その他

第3回 平成31年 3月 8日(金)午前11時～午後6時 JAIFA本部会議室

議 事 1. 2019JAIFA年次大会について 2. その他

【2019JAIFA年次大会実行委員会】

第1回 平成30年 7月26日(木)午後3時～午後7時 第一生命長野支社会議室

議 事 1. 2018JAIFA年次大会報告 2. 2019JAIFA年次大会について
3. その他

第2回 平成30年11月 8日(木)午後2時～午後6時 明治安田生命長野支社会議室

議 事 1. 2019JAIFA年次大会について 2. その他

第3回 平成31年 2月 1日(金)午後2時～午後6時 明治安田生命長野支社会議室

議 事 1. 2019JAIFA年次大会について 2. その他

企画広報委員会 広報部会

第1回 平成31年 3月 1日(金)午後3時30分～午後5時30分 JAIFA本部会議室

議 事 1. 平成30年度事業推進状況について 2. 平成31年度事業計画案について

3. その他

社会奉仕委員会

- 第1回 平成30年11月27日(火) 午後3時～午後5時 JAIFA本部会議室
議 事 1. 平成30年度事業進捗について 2. 平成31年度事業計画(案)について
3. 社会貢献顕彰の選定について 4. その他
- 第2回 平成31年 3月19日(火) 午後2時30分～午後4時30分 JAIFA本部会議室
議 事 1. 平成30年度事業進捗について 2. 平成31年度事業計画(案)について
3. 社会貢献顕彰の選定について 4. その他

組織強化委員会 組織部会

- 第1回 平成30年 10月15日(月) 午後2時～午後5時 JAIFA本部会議室
議 事 1. 平成30年度事業推進と進捗状況について・会員増強について 2. 平成31
年度事業計画骨子について 3. その他

③全国会長会議

- 第1回 平成30年10月26日(金) 午後3時30分～午後6時
全国会長会議、JAIFAフォーラム 19時～21時00分 ナイトミーティング
議 事 1. 本部重要事項報告 ①委員会の進捗と平成31年度事業計画骨子
教育委員会、企画広報委員会 企画部会・広報部会、社会奉仕委員会、組織強化委
員会 組織部会・財務部会・金融業界調査部会・総務部会 ②ハートフルファンデ
ーションについて ③JAIFAの組織の現況等について
平成30年10月27日(土) 午前9時～午前12時 全国会長会議、ブロック会議 メッ
トラライフ生命 6階 大会議室
1. JAIFAフォーラム報告 8グループからの代表 2. ブロック会議、北海
道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、首都圏ブロック、東海北陸ブロ
ック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロック 3. ブロック
会議報告

④ブロック長会議

- 第1回 平成30年10月26日(金) 午後1時～午後3時 メットライフ生命 6階 会議室
議 題 1. 会員増強「さあ! ずく出して 40,000人キャンペーン」について 2. 20
19年長野年次大会動員について 3. その他
- 第2回 平成31年 1月28日(月) 午後1時～午後3時30分 如水会館 2階蘭
議 題 1. 組織強化について 全国会長会議(10月26日)からの経過と進捗について
①「さあ! ずく出して 40,000人キャンペーン」の進捗について ②2019
JAIFA年次統一セミナー(長野)の動員について 2. ブロック事業活動につ
いて 3. その他

⑤ブロック会議

<北海道ブロック>

平成30年10月 5日 (金) ホテル日航ノースランド帯広 (会計長会議を含む)
平成30年10月27日 (土) メットライフ生命6階会議室

<東北ブロック>

平成30年10月16日 (火) イヤタカ会議室 (会計長会議を含む)
平成30年10月27日 (土) メットライフ生命6階会議室

<関東甲信越ブロック>

平成30年 7月27日 (金) 明治安田生命長野支社会議室 (会計長会議を含む)
平成30年10月27日 (土) メットライフ生命6階会議室
平成31年 2月 1日 (金) ホテル国際21

<首都圏ブロック>

平成30年 4月23日 (月) 東京協会会議室
平成30年 6月13日 (水) 東京協会会議室
平成30年 7月13日 (金) 東京協会会議室
平成30年 9月13日 (木) 東京協会会議室
平成30年10月27日 (土) メットライフ生命6階会議室
平成30年11月29日 (木) 東京協会会議室

<東海北陸ブロック>

平成30年10月13日 (土) ジブラルタ生命岐阜支社会議室 (会計長会議を含む)
平成30年10月27日 (土) メットライフ生命6階会議室

<近畿ブロック>

平成30年 9月27日 (木) ソニー生命大阪支社会議室 (会計長会議を含む)
平成30年10月27日 (土) メットライフ生命6階会議室
平成31年 3月28日 (木) ヒルトンプラザウエスト 燦

<中国ブロック>

平成30年 8月 8日 (水) 明治安田生命広島支社3階会議室
平成30年10月18日 (木) 明治安田生命広島支社地下1階会議室
平成30年10月27日 (土) メットライフ生命6階会議室
平成30年11月28日 (水) 明治安田生命広島支社3階会議室 (会計長会議を含む)

<四国ブロック>

平成30年10月27日 (土) メットライフ生命6階会議室
平成30年11月19日 (月) ホテルリブマックス伊予三島 (会計長会議)
平成31年 3月25日 (月) ホテルリブマックス伊予三島

<九州ブロック>

平成30年10月27日 (土) メットライフ生命6階会議室
平成30年11月29日 (木) アクロス福岡会議室

※平成30年10月27日 (土) のブロック会議は、全国会長会議と同時に、
全9ブロックが一堂に会して一斉に開催された。

■業務執行体制等

規程順守、個人情報をはじめコンプライアンス体制の強化、また反社会的勢力に対する対応方針など、理事会の場を活用し、役員並びに職員に対しても説明をしたうえで、体制の強化にあたっている。

平成30年度は、「規程順守」「雇用実態」の各項目での内部監査を実施した。

- 内部監査
- 1 地方協会の規程順守調査
 - 2 地方協会の雇用実態調査
 - 3 地方協会の内部監査

■職員の状況

本部事務局の業務にあたる平成30年度末の専従職員数は、事務局長以下7名である。

■節電の実施

政府の電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議合同会合において毎夏・毎冬とも「電力需給対策について」の決定に基づいた節電対策の要請を受け、電力需給対策・徹底した節電に取り組んだ。

■福利厚生

公益社団法人移行後は、一般法人法の適用により、役員の賠償責任のリスクが発生することから、公益財団法人公益法人協会が斡旋する「役員賠償責任保険団体制度」に加入している。この保険は、法人役員が、社員代表訴訟、法人訴訟（いずれも社団法人のみ）、第三者訴訟（社団法人、財団法人共通）により損害賠償請求を提起された場合、法律上の損害賠償責任・訴訟費用を負担することによって被る損害をカバーするものとなっている。